

## ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

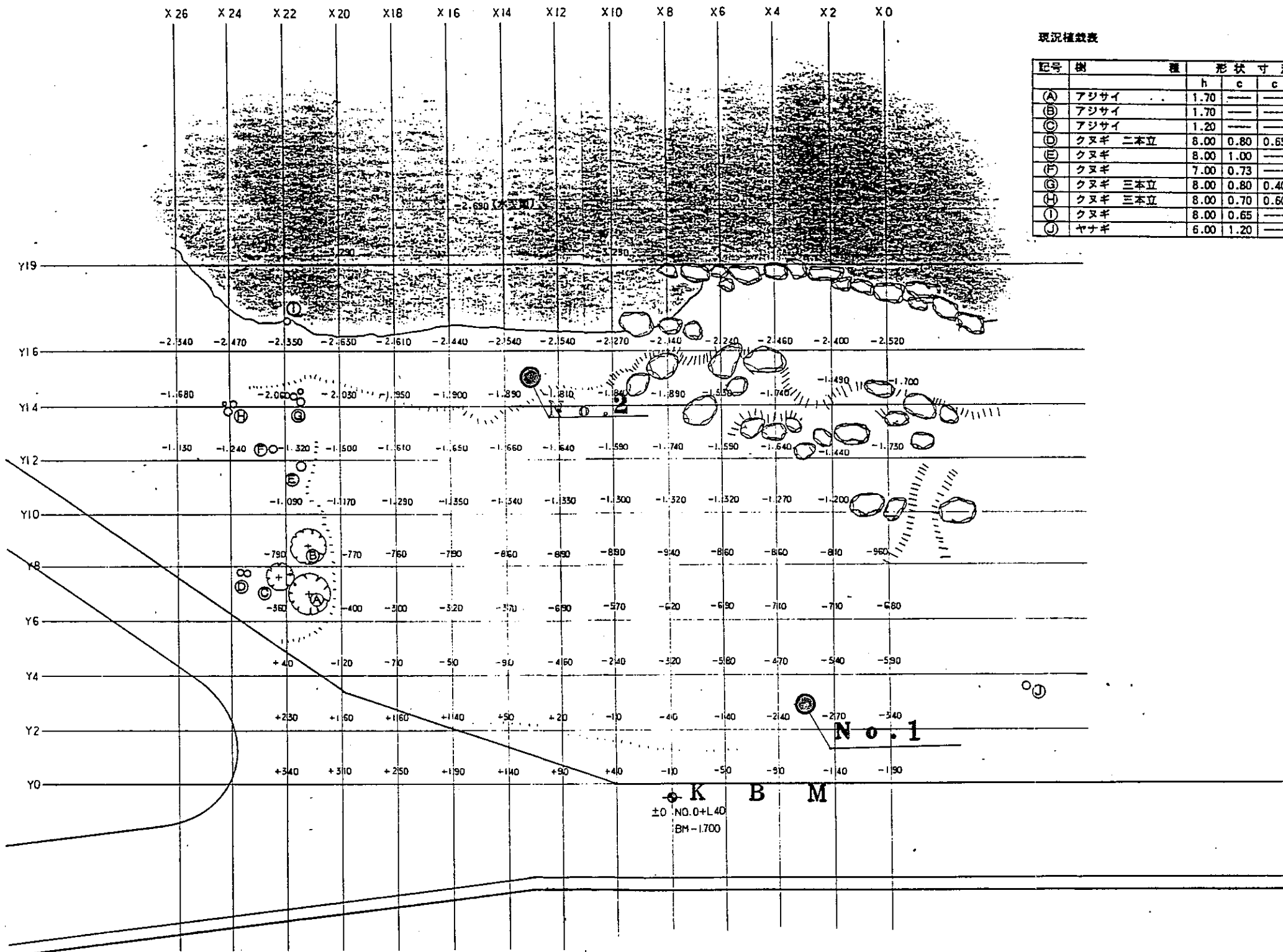
地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課



# 平面位置図 縮尺 S=1:200



現況植栽表

記号	樹種	形状寸法		
		h	c	c
(A)	アジサイ	1.70	---	---
(B)	アジサイ	1.70	---	---
(C)	アジサイ	1.20	---	---
(D)	クヌギ 二本立	8.00	0.80	0.65
(E)	クヌギ	8.00	1.00	---
(F)	クヌギ	7.00	0.73	---
(G)	クヌギ 三本立	8.00	0.80	0.40
(H)	クヌギ 三本立	8.00	0.70	0.60
(I)	クヌギ	8.00	0.65	---
(O)	ヤナギ	6.00	1.20	---

# ボーリング柱状図

調査名 井頭公園ウォーターハウス新築設計業務委託

## 事業・工事名

ボーリングNo.

ボーリング名	No. 2		調査位置	真岡市下籠谷地内		シートNo.	北緯
発注機関	栃木県		調査期間	平成 6年11月28日～ 6年11月30日		東経	
調査業者名	主任技師		現場代理人	コダマ 鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	85.124m	方向	北 90° 東 西 270° 南 180°	試験機	KR-100	ハンマー	コーンフ・リー
総掘進長	15.33m	角度	180° 上 90° 下	エンジン	NS-8	落下用長	ポンプ
				機種			VP-5

標尺 (m)	層厚 (m)	標高 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	相対密度	記	孔内水位 (m)	標準貫入試験				原位置試験	試験採取	掘進月日
										深度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値			
1	0.80	84.32		盛土	黒褐	軟らかい		黒色シルト主体 コンクリート片・礫混じる 含水中～高位 少量の砂分混入	11/30 2.30	1.15	1	4	4	1.15	1	11/28
2	0.90	83.42		ローム	茶褐	非常に軟		高含水である 粒径2～5mm程度 所々、褐色を帯びる	2.30	2.15	1	30	1	2.15	2	11/28
3	0.90	82.52		軽石	黄褐 ～茶褐	中位		上部含水多く非常に軟質で、灰褐色 (粘土化している) 3.5mより、暗茶褐 スコリア混入多く、所々固結している	2.45	3.15	1	4	4	3.15	3	11/28
4	1.90	80.62		ローム	灰褐 ～茶褐	中位			4.15	4.45	1	2	5	4.15	4	11/28
5	0.80	79.82		粘土	黄青 ～黒褐	非常に硬		非常に硬質で、上部に スコリア混入少量混入 下部に硬い塊が点在する	4.45	5.15	4	10	22	4.45	5	11/28
6									5.45	6.15	16	15	46	5.45	6	11/28
7									6.45	7.15	11	18	40	6.45	7	11/28
8									7.45	8.15	13	33	4	7.45	8	11/28
9									8.41	9.15	10	8	5	8.41	9	11/28
10									9.45	10.15	8	9	8	9.45	10	11/28
11									10.45	11.15	10	12	10	10.45	11	11/28
12									11.45	12.15	15	11	13	11.45	12	11/28
13									12.45	13.15	11	18	21	12.45	13	11/28
14									13.45	14.15	24	26	7	13.45	14	11/28
15									14.32	15.15	25	25	8	14.32	15	11/28
									15.33					15.33		11/30

